



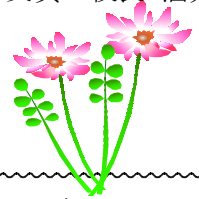
玉川村立
玉川第一小学校
自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども



令和2年4月17日
No. 3
文責：校長 酒井

学校だより

玉一っ子通信



※ 認定こども園と名前が似通っていて紛らわしいことに今頃気づきました。本日より「クックの森の子どもたち」改め「玉一っ子通信」とします。

～合い言葉は～

「気づき・考え・実行する・続ける」

4月14日、青少年赤十字社（JRC）の登録式を行いました。当初は全校生を一堂に会して行う予定でしたが、3密を避けるための緊急措置です。それでも、JRC委員会委員長、6年大和田琉夏さんに赤十字旗が渡されると、「JRCの精神を心に刻み、命と健康を大切に地域社会や世界のために奉仕していきます。」と、誓いの言葉が堂々と発表され、全校生の意識も高まりました。

会場校の指定を受けて今年度で3年目となる本校のJRC活動ですが、目的は「気づき・考え・実行する・続ける」児童を育てること。玉一小の子どもたちが将来自立するための自主性・主体性をどう身につけさせるかが重要となります。これらは本校の教育目標「自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども」と合致するものであり、新しい学習指導要領の基本的な考え方「主体的・対話的で深い学び」とも重なります。

指示されてから行動するのではなく、気づいたらすぐに行動に移せる子どもたちを目指します。その前にはなんと言っても気づくことが大切です。ただ見ているだけでは物事の本質を見抜くことはできません。ですから経験が必要ですし、失敗から学ぶことも大切です。とにかくやってみる、そこから多くを感じ取らせたいと考えています。

今朝、高学年の子どもたちは登校後すぐに、校舎前の花壇に集まり除草作業を行いました。用務員さんや担任の先生方の作業している様子に気づいたのでしよう。これまでの2年間の活動が着実に成果となって表れています。



＜旗を受け取る大和田さん＞



＜みんなで朝ボランティア＞

安全第一！（決められた方法での登校を）



春の交通安全期間の立哨指導ありがとうございました。おかげさまで、全校生が安全に登校することができました。1年生も少しずつ慣れ、交通教室ではいつもより長めの徒歩下校にも挑戦することができました。

さて、本校では「玉一よいこの生活」（生活のきまり）を作成し、それらを約束事として、学習や生活を進めています。（今年度は来週配布予定）その最初の注意点が次の内容です。

～ 安全に気を付けてなるべく二人以上で登校する。やむを得ず車で登校するときは、商工会前、中村池前で車から降り、そこから歩いてくる。～

今週、学校前の混雑から危ない場面を何度か見かけました。幸い大事には至りませんでした。何か起こってからでは取り返しがつきません。決められた方法で登下校することは、安全な歩行の仕方や規則正しい生活の仕方を身につけたり、体力をつけたりするためには必要なことです。感染症等の不安はつきませんが、どうぞご理解の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。